

## 公定歩合引上げに関する政策委員会議長談

(昭和54年4月16日)

景気は内需を中心として上昇傾向に力強さが加わってきているが、最近卸売物価の騰勢が一段と強まり、物価情勢は相当警戒を要する段階に入ったと判断される。国際収支面では経常収支の黒字縮小が予想以上に急速に進展し、内外金利差の拡大等を背景に大幅な資本流出が続いていることもあって、外国為替市場においてはこのところ相場の円安化が目立っている。

以上のような情勢にかんがみ、日本銀行は、インフレを未然に防止し、息の長い景気上昇を図る趣旨から、本日公定歩合を0.75%引上げることを決定し、4月17日から実施することとした。本措置は為替相場の面にも安定的な効果を持つものと期待される。

日本銀行としては、すでに4～6月の窓口指導を強化しているところであるが、各金融機関におかれては今回の措置の趣旨を良く理解され、貸出に慎重を期されるよう要請したい。

### 日本銀行基準割引歩合および貸付利子歩合の変更

(昭和54年4月17日実施)

- |   |        |            |
|---|--------|------------|
| 1. 商業手形割引歩合ならびに国債、<br>特に指定する債券または商業手形<br>に準ずる手形を担保とする貸付利<br>子歩合 | 年4.25% | (0.75%引上げ) |
| 2. その他のものを担保とする貸付利<br>子歩合                                       | 年4.5%  | (0.75%引上げ) |